
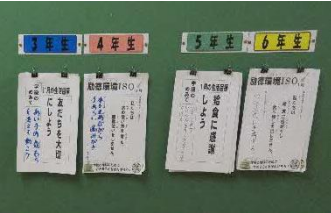


## 1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	 <p>（写真1） 学校版環境ISO宣言の掲示</p>  <p>（写真2） 各学級の環境目標の掲示</p>	<p><b>学校版環境ISO宣言</b></p> <p>＜児童宣言＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最後まで物を使い切り、ゴミの量を減らします。</li> <li>・教室を使わないときは、電気の切り忘れ0をめざします。 * 数値目標：電気使用量3%減</li> <li>・水のむだ使いをやめ、大切に使います。 →コップ1杯の水で歯磨きをします。 →清掃時は、バケツ1杯の水で掃除をします。 * 数値目標：水道使用量3%減</li> <li>・美里の豊かな緑を守っていきます。</li> <li>・栽培活動に励み、植物を大切にします。</li> <li>・食材に感謝をし、残飯を減らします。 * 数値目標：残滓0</li> <li>・学んだことを生活に活かします。</li> </ul> <p>＜職員宣言＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷は2ページ以上の場合は、両面を使います。</li> <li>・封筒の再利用をします。</li> <li>・ゴミをきちんと分別し、ゴミ出しのルールを守ります。</li> <li>・職員間の連絡や授業で使い捨てにする用紙は、裏紙の利用を推進します。</li> <li>・電気はこまめに消し、むだ使いはしません。 * 数値目標：電気使用量3%減</li> <li>・節約意識の徹底を図ります。</li> <li>・環境学習を推進します。</li> </ul> <p>○児童昇降口に「学校版環境ISO宣言」の児童宣言7項目と、全学年の目標を掲示して、いつでも子どもたちの目に触れるようにした。（写真1・2）項目の内容については、環境委員会で毎年見直しを行い、月ごとの目標に反映している。</p> <p>○各学級では、環境ISOの目標の用紙を教室に掲示し、朝の会で、学級で決めた「具体的な目標」を確認し、帰りの会で目標が達成できたかをふり返ることで意欲付け及び実践化を図っている。</p>
行動		<p><b>1 電気・水の使用量の削減（目標：各3%減）</b></p> <p>○各学年、電気係や日直児童が中心となり、教室を出る時には教室の照明を消すように心掛けている。</p> <p>○冷暖房使用の際には設定温度を守り、扇風機やストーブを効率よく併用する。</p> <p>○給食後の歯みがきで自分のコップを使ってうがいをしたり、掃除時間はバケツの水を使ってぞうきんを洗ったりしている。昨年度から、コップ1杯・バケツ1杯の水を使用するという具体的な量を目標に付け加えて取り組んでいる。さらに、給食や掃除の際の放送で、上記の内容を流し、児童の意識が高まるようにしている。</p>



(写真3) 環境委員会の発表



(写真4) 校区探険ウォークラリー



(写真5) フットパスガイドボランティア



(写真6) 二人一鉢運動



(写真7) 縦割り班掃除



(写真8) 「励徳ピカピカ大作戦」

○環境委員会で前年度と比較できる月ごとの使用量のグラフを作成し、児童昇降口の掲示板に掲示している。

○児童集会で、電気・水の使用量のグラフをもとに、環境問題や学校での取り組みについて、環境委員会が発表を行った。(写真3)

## 2 環境学習

○昨年度から、低学年コース(約5キロ)と高学年コース(約10キロ)に分かれて、秋遠足(校区探険ウォークラリー)を開催している。児童、保護者、職員が参加し、フットパス協会の方に説明してもらいながら、地域の歴史や自然の豊かさを学んだ。途中、ゴミが落ちていることに気付く児童も多くいた。(写真4)

○美里フットパス協会主催の「フットパス」で、6年生がガイドボランティアを務めた(今年度は、コロナ感染症拡大防止のため中止)。総合的な学習の時間に、地域の歴史や自然環境などについて調べたものをまとめ、紹介ボードを使って説明した。(写真5)

## 3 栽培活動

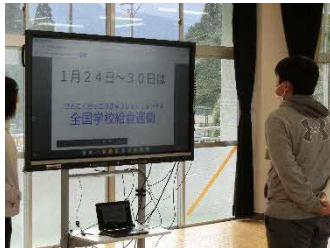
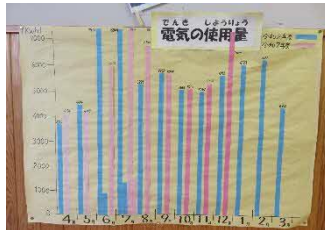

○年間を通して花を絶やさないように、環境委員会を中心に学校花壇の花の苗植えを行い、児童の力で環境整備に取り組んでいる。花の苗も種から栽培し、大切に育てた。

○一人一鉢(二人一鉢・三人一鉢)運動を環境年間計画の中に位置づけ、各学年の教科学習計画に合わせて栽培活動を行った。友だちと協力して花や野菜を育てることの大切さも感じる事ができた。(写真6)

## 4 美化活動

○今年度から、掃除を縦割り班で行っている。月始めに班ごとに掃除場所の割り振りを行い、それぞれに担当職員が付いて、教師と児童が一体となって学校をきれいにすることを目標に頑張っている。5、6年生にアンケートをとったところ、縦割り班掃除をした方が良いと答えた児童が約7割だった。理由には、他学年と協力することの大切さや、高学年としてどうすればよいか考えられるようになったことが書かれており、児童の主体性や協働力の高まりを感じることができた。(写真7)

○企画委員会の提案による、登校時のあいさつ運動では、あいさつをするだけでなく、落ち葉掃きをする姿が見られるようになっている。今年度は、「励徳ピカピカ大作戦」というネーミングで、掃除をする場所を変えながら行っている。あいさつ運動と清掃活動は、縦割り班ごとや学年ごとに行うが、低学年が当番の時には、高学年の児童が進んで清掃活動を手伝っている。(写真8)

	 <p>(写真 9) 給食集会</p>	<p><b>5 食に関する学習（目標：給食の残滓 0）</b></p> <p>○以前は、給食委員会で、残滓調べを行っていたが、ここ数年、残滓はほとんどないため、本年度は実施しなかった。残さずに食べてしまうという意識が定着している。</p> <p>○1 月に、給食委員会がリモートで給食集会を実施し、給食の始まりや歴史に関する発表、給食の先生方へのインタビュー、感謝状の贈呈を行った。生産者や食事を作ってくださいの方々への感謝の気持ちと、残さず食べることの大切さを感じることができた。(写真 9)</p>								
記録	 <p>(写真 10) 電気の使用量</p>  <p>(写真 11) 水の使用量</p>	<p><b>1 電気の使用量（写真 10）</b></p> <p>＜電気使用量＞＊ 4 月～ 1 1 月</p> <table><tr><th></th><th>電気使用量 [kWh]</th></tr><tr><td>平成 3 0 年度</td><td>4 1 1 0 0 . 5</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>4 5 7 7 0 . 6</td></tr><tr><td>令和 2 年度</td><td>4 7 1 5 1 . 0</td></tr></table> <p>○エアコンを設置したこともあり、使用量が増加することは予想していた。今後どのように減らしていくかを児童と職員が一緒に考え、見直ししていくことが必要である。</p> <p><b>2 水の使用量（写真 1 1）</b></p> <p>○平成 3 0 年度は 2 2 2 4 k L、令和元年度は、2 8 8 0 k L、令和 2 年度は 2 2 5 2 k L であった。昨年度は児童の体力向上のために、芝生のランニングコースを作ったことで、たくさんの水が必要であった。平成 3 0 年度と比較すると、約 1 % 増加している。電気の使用量と同様、課題の把握と対策に学校全体で取り組んでいく必要がある。</p>		電気使用量 [kWh]	平成 3 0 年度	4 1 1 0 0 . 5	令和元年度	4 5 7 7 0 . 6	令和 2 年度	4 7 1 5 1 . 0
	電気使用量 [kWh]									
平成 3 0 年度	4 1 1 0 0 . 5									
令和元年度	4 5 7 7 0 . 6									
令和 2 年度	4 7 1 5 1 . 0									
見直し		<p>1 環境委員会で、学校版環境 I S O 宣言と月別目標の見直しを行う。</p> <p>2 各教室のバケツに目印を付け、掃除の際に使う水の量を決めることで、さらに節水できるようにする。</p> <p>3 学校版環境 I S O の行動宣言が達成できたかどうかのチェックカードを作成し、一人ひとりが自分の行動を振り返る。</p>								

## 2 成果と課題

成 果	課 題
<p>○委員会や学級での取組で、残滓ゼロが定着している。</p> <p>○高学年を中心に、自主的に縦割り班掃除、落ち葉掃きなどの清掃活動に取り組む姿が見られた。</p> <p>○校区探検ウォークラリーやガイドボランティアなど多くの体験活動を通して、地域の自然・伝統文化・人のすばらしさを感じられた。</p>	<p>○節電・節水を意識するための働きかけをさらに工夫し、学校全体で取り組んでいく。</p> <p>○年間計画の見直しや、持続可能な実践を継続して行うために、教職員全体の意識を高めていく。</p> <p>○今年度の取組をもとに、自ら考え、行動することができる児童の育成をめざす。</p>